



第13次「千葉県体育・スポーツ推進計画」における

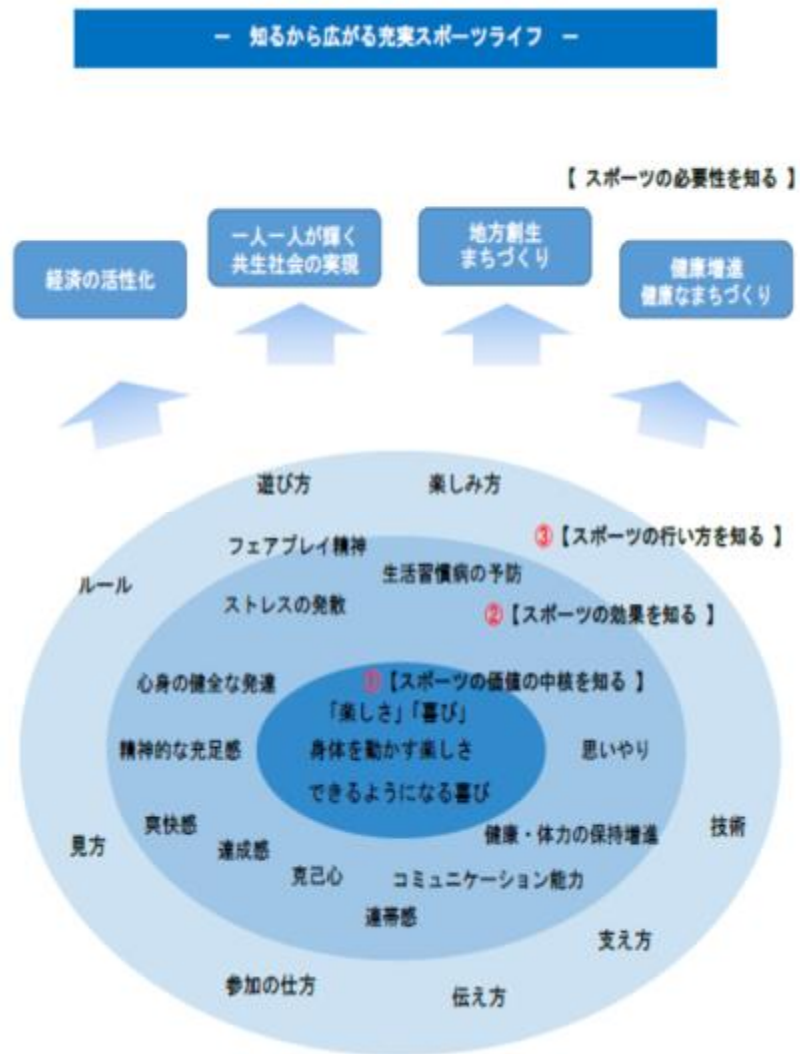
「スポーツを知る」取組の実施状況について

計画本文12頁より

「スポーツを知る」とは、身体を動かす楽しさやできるようになる喜びなどの「**スポーツが有する価値の中核を知る**」、健康・体力の保持増進やストレスの発散などの「**スポーツの効果を知る**」「**する・みる・ささえる**」スポーツにつながる「**スポーツの行い方を知る**」そして、共生社会や地方創生・まちづくりなどの社会的な側面における「**スポーツの必要性を知る**」といった多面的な要素があります。

スポーツの楽しさや喜び、効果などを知ること、**スポーツを好きになったり始める動機づけ**になったりします。また、「**する・みる・ささえる**」に関わる具体的な行い方を知ること、**スポーツがより身近に、より深く、より楽しく充実**します。さらにこれらの結果、スポーツに親しむ人が増え、社会的な波及効果が見込まれます。

第13次計画では、**研修会や講習会、ホームページやリーフレット**等を活用し、**スポーツが持つ多様な力を効果的に発信**することで、一人でも多くの県民が日常的にスポーツに親しみ、本県のスポーツが更に推進することを目指します。



4つの「スポーツを知る」

「スポーツが有する価値の中核を知る」

「スポーツの効果を知る」

「スポーツの行い方を知る」

「スポーツの必要性を知る」

今回報告する「スポーツを知る」に関する取組

主に一般県民を対象とした、県民のスポーツ実施率の向上やスポーツの裾野の拡大につながる取組

- ① 「スポーツが有する価値の中核を知る」
 - ② 「スポーツの効果を知る」
 - ③ 「スポーツの行い方を知る」
- のいずれかに貢献するもの

今回報告する「スポーツを知る」に関する取組

全107事業のうち、
55事業が該当

55事業のうち、

- ①「スポーツの価値の中核を知る」 **39事業**
- ②「スポーツの効果を知る」 **38事業**
- ③「スポーツの行い方を知る」 **37事業**
が該当

各リンクにおける 「スポーツを知る」関連事業の取組状況

～令和4年度以降の**新規・拡充**事業～

リンクA 子どもの体育・スポーツ活動の充実と体力の向上

ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業

価値

効果

行い方

県内トッププロスポーツ団体に所属する選手やコーチ等を、県内の小学校等へ派遣し、スポーツ教室や講演会等を実施。

- ・派遣校数が10校から**19校に増加**
- ・派遣先を、小中学校から、**特別支援学校にも拡大**

R5〜



特別支援学校におけるパラスポーツ推進事業

価値

効果

行い方

特別支援学校教員及び児童生徒の小・中学校や高齢者施設等への訪問、小学生等の特別支援学校への来校により、パラスポーツの紹介や一緒に試合を実施。

- 実施校数を5校から**21校に拡大** (R5)

R5〜



リンクB 人生を豊かにするスポーツの推進

ライフステージに応じたスポーツの情報発信

行い方

スポーツイベント・多様なスポーツ・スポーツ施設等の情報発信

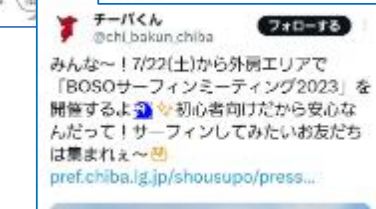
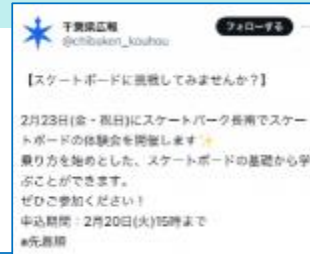
行い方

○対象者に合ったスポーツの取組みや各種イベント等の情報を「見つけやすく」「わかりやすく」発信。

○イベントの最新情報や家庭でできる運動実施例等について、各種媒体を通じた情報発信やコンテンツの充実を図る。

- ・総合型地域スポーツクラブの **R5** 最新情報をQRコードから得られるポスター・リーフレットの作成・配布
- ・体験会やイベント情報の **県公式SNS** での発信、**県障害者スポーツ協会** で SNS による情報発信を開始

R6 働き盛りや子育て世代向けに、日常生活での少しの工夫や心がけで無理なく運動できる例を示した **リーフレット** の新規作成・配布



リンクC 誰もがともに楽しめるパラスポーツの推進

パラスポーツフェスタの開催

価値

効果

行い方

パラスポーツの周知と障害への理解促進のため、障害の有無に関わらず参加できる、パラスポーツの体験会や対抗戦を実施。

- R4~
- ・ 千葉市に加え、**東葛地域でも開催へ**
 - ・ 参加人数が
約4千人⇒**約5千人に増加**



パラスポーツの広報の強化

価値

効果

行い方

パラバドミントン、ボッチャなど6競技を紹介する、パラスポーツ普及・啓発用の映像及びリーフレットを作成、周知。

- R4~
- ・ DVD・リーフレットをリハビリ病院や障害者施設等に配布
 - ・ 県民だよりや新聞で体験会の周知や競技紹介を実施



リンクC 誰もがとともに楽しめるパラスポーツの推進

パラアスリート等による学校訪問の実施

価値

効果

行い方

共生社会の実現を目的に、県内の小中学校等にパラアスリート等を派遣し、各種講演や体験会を実施。

R5～
派遣先を**特別支援学校に拡大**し、
R5年度は、小中学校18校、
特別支援学校12校の**計30校**で実施



特別支援学校を活用したパラスポーツ普及促進事業

価値

効果

行い方

障害のある方が身近な地域でパラスポーツを体験できるよう、県立特別支援学校を活用し、パラスポーツ教室を開催。

- R6
- ・ **特支4校**を活用し、10月から2月までの間、月1回開催予定
 - ・ 種目は、卓球、ボッチャ、フライングディスク、バレーボール等を想定



リンクD スポーツ環境の整備・充実

プロスポーツ選手等顕彰の創設

価値

県民のスポーツに対する意識の高揚又は地域の活性化を図るため、プロスポーツに特化した表彰制度（ちば夢チャレンジ大賞、ちば夢チャレンジ殊勲賞、ちば夢チャレンジ功労賞）を新設。

R5～

- ・「ちば夢チャレンジ殊勲賞」の第一号として、クボタスピアーズ船橋・東京ベイ、千葉ジェッツふなばしを表彰
- ・「ちば夢チャレンジ功労賞」の第一号として、千葉ロッテマリーンズを表彰



リンクE 競技力の向上とクリーンでフェアなスポーツの推進

国際スポーツ交流への協力

価値

効果

行い方

県内で開催される国際スポーツ大会の開催に対する費用補助を実施。

R5～

補助対象をパラ大会に限定していたところ、**対象をパラ大会以外にも拡大**



リンクF スポーツの価値の発信とスポーツによる地域づくり

ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト

価値

効果

行い方

トップ・プロスポーツチームと共同で、県内在学の小学生とその保護者を公式戦へ招待するとともに、キャリア体験プログラムを実施

- R4~
- ・プロスポーツチーム数が
5チーム⇒**6～7チームに増加**
 - ・参加人数が
約2万2千人⇒**12万7千人超に増加**
 - ・参加対象を、小学生から
小・中・高校生へ拡大 (R5~)



競技団体等との学校における連携事業

価値

効果

行い方

競技団体と連携し、小・中学校においてアスリートを講師役とした競技説明・紹介及び競技体験を実施。
(フェンシング・サーフィン)

R6

サーフィン学校訪問について、実施地域を、長生地域に加え、**海匝・南房総地域に拡大**



リンクF スポーツの価値の発信とスポーツによる地域づくり

マリンスポーツを活用した地域の魅力向上

価値

効果

行い方

R4~

サーフィンの普及とスポーツを核とした地域活性化を促進するため、サーフィンを核とした周遊モデルルートの作成や、初心者向けのサーフィン体験会及びサーフ文化の発信イベントを実施。

- ・サーフィンを中心にした**周遊モデルルート**を作成、周知（R4）
- ・初心者向けの体験会及びイベントを、外房・南房総の6カ所で開催し、**約220人**が参加（R5）



「新たなスポーツ」の周知・研究

価値

効果

行い方

R4~

あらゆる人がスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルスポーツや、BMXやスケートボード等のアーバンスポーツ等、新しい分野のスポーツの周知・研究を実施。

- ・体験会やイベントを**累計30回**開催、**約1400人超**が参加
- ・アーバンスポーツの**魅力発信**及び**マナー啓発動画**を作成（R5）

